

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第13週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (13週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	肺結核	発熱、呼吸困難
		日南	70歳代	男	疑似症患者	発熱
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	60歳代	男	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	延岡	80歳代	男	—	ショック、肝不全、腎不全、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状等
	百日咳	延岡	0~4歳	男	—	持続する咳
		高鍋	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
中央		5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は354人(定点当たり10.1)で、前週比104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

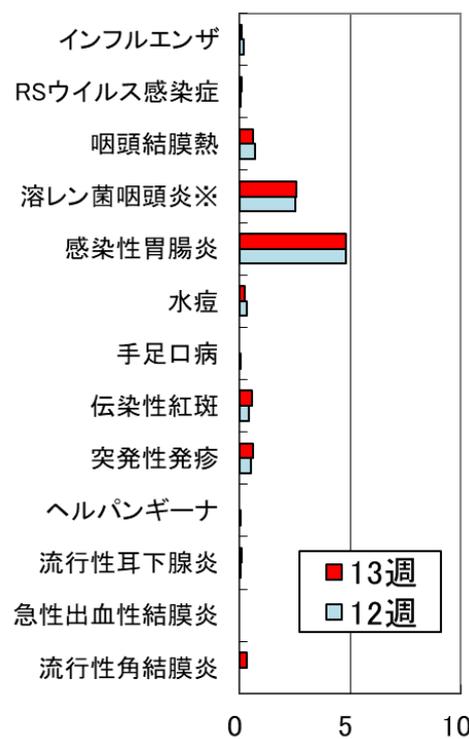
報告数は92人(2.6)で、前週比101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.3)の約1.1倍であった。宮崎市(5.3)、日南(4.7)、都城(2.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では2~6歳が全体の約7割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は174人(4.8)で、前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(9.2)の約0.5倍である。小林(9.7)、中央(9.0)、都城(7.5)、日南(7.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~4歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

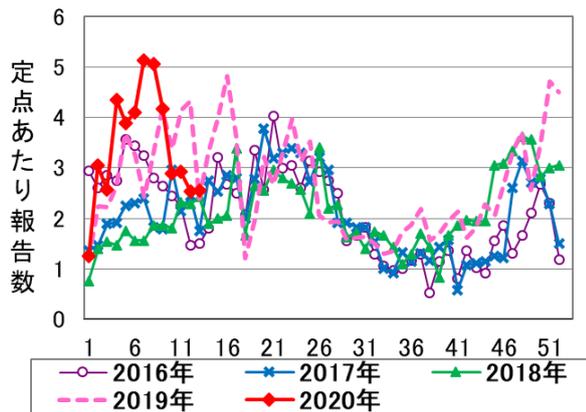
《前週との比較》



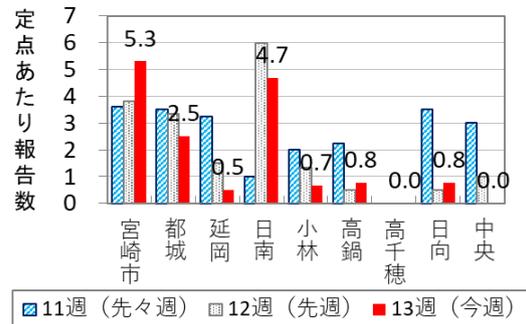
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

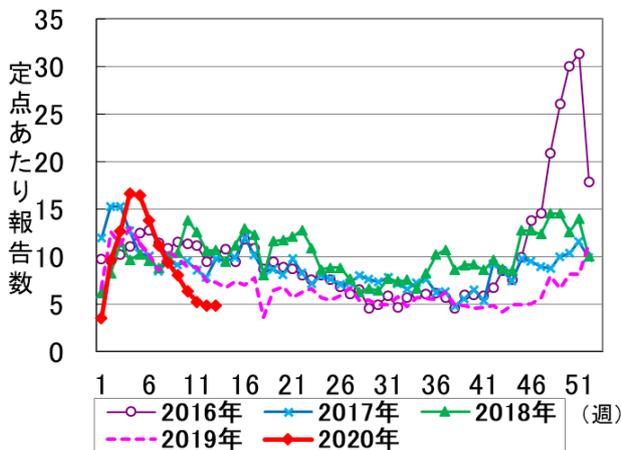
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



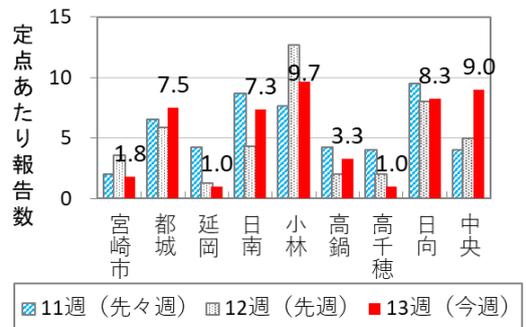
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	水痘(1.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(2.0)、伝染性紅斑(3.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・水痘(2.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

流行注意報レベル基準値

- ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年3月30日までに検出）

★細菌 なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスAH1pdm09	40歳代	女	2020.01.28	インフルエンザ、39.1°C、咽頭炎、咽頭痛、肺炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2020.03.26
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2020.02.17	インフルエンザA型、39.0°C	咽頭ぬぐい液	2020.03.26
インフルエンザウイルスAH1pdm09	40歳代	男	2020.02.19	インフルエンザA型、発熱、頭痛、咽頭炎	鼻汁	2020.03.26
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2020.02.20	インフルエンザA型、39.8°C、気管支炎、嘔気、嘔吐、咳	咽頭ぬぐい液	2020.03.26
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	女	2020.02.25	インフルエンザA型、40.0°C、気管支炎	鼻汁	2020.03.26
インフルエンザウイルスB型 (ビクトリア系統)	5～9歳	女	2020.02.26	インフルエンザB型、39.0°C、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2020.03.26
ヒトヘルペスウイルス7	0～4歳	男	2019.01.28	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2020.03.25
SARS-CoV-2	20歳代	男	2020.03.16	39.0°C、上気道炎	鼻咽頭ぬぐい液	2020.03.17
SARS-CoV-2	40歳代	男	2020.03.16	39.0°C、肺炎、気管支炎	鼻咽頭ぬぐい液	2020.03.17

○県内で2例目、3例目となるSARS-CoV-2が検出された。2例目はイギリスへの渡航歴があり発熱、上気道炎の症状がみられた。3例目は発熱、肺炎、気管支炎の症状が見られた。

🇯🇵 全国 2020 年第 12 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 12 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	201 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	5 例	パラチフス	3 例
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	17 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	17 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	23 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	45 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	75 例
	風しん	4 例				
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	264 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 71%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

感染性胃腸炎の報告数は 6,929 人(2.2)で前週比 77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.7)の約 0.4 倍であった。香川県(5.1)、宮崎県(4.8)、大分県(4.5)からの報告が多く、年齢群別では 1～4 歳が全体の約半数を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,408 人(1.7)で前週比 74%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約 0.7 倍であった。富山県(5.2)、石川県(4.2)、山形県(4.1)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均